



## ～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局 定例記者会見（ 7 月 ）

令和元年 7 月 1 8 日（木） 1 4 : 0 0 ~  
沖縄総合事務局 6 階「特別会議室」

### 【発表事項】

1. 平成 31 年度（令和元年度）「沖縄酒類製造業自立経営促進事業」の事業採択について
2. 「第 3 回食育活動表彰」における読谷村漁業協同組合の受賞について
3. 子ども見学デーの開催について

出席者 沖縄総合事務局

局 長  
次 長  
次 長  
総務部広報室長  
総務部振興企画官  
農林水産部長

吉 住 啓 作  
仲 程 倫 由  
小 口 浩  
大 城 隆  
中 村 敏 昭  
田 中 晋太郎

## 平成 31 年度（令和元年度）「沖縄酒類製造業 自立経営促進事業」の事業採択について

「沖縄酒類製造業自立経営促進事業」は、海外への販路開拓などに向けた先進的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造業者等に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きを促進することを目的としている。

平成 31 年度（令和元年度）は平成 31 年 3 月 22 日（金）から平成 31 年 4 月 19 日（金）の間公募を行い、13 件の申請があった。厳正な審査の結果、7 件の事業を採択した。

### 1. 事業の背景

- ・泡盛製造業は、沖縄の貴重な地場産業として、雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしているところ、近年、出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれている。
- ・このため、内閣府では 2018 年 1 月より「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、まずは 2020 年までに泡盛の輸出量を倍増させることを目標に、官民一体となった取組を推進している。
- ・当プロジェクトでは、プロジェクト会員が行動計画に基づき各取組を実施するとともに、プロジェクト会合を開催し、会員相互の取組について情報交換を行っている。
- ・沖縄総合事務局では、プロジェクトの取組の一環として「沖縄酒類製造業自立経営促進事業」に取り組んでおり、海外への販路開拓などに向けた先進的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造業者等に委託している。

### 2. 平成 31 年度（令和元年度）採択結果

- ・採択事業者 7 件（欧州市場、北米市場、豪州市場、アジア市場）

#### 問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局総務部振興企画官室

担当者：宮平、中村

TEL：098-866-0047

FAX：098-860-1025



## 平成31年度（令和元年度）「沖縄酒類製造業自立経営促進事業」の事業採択について

- 内閣府では2018年1月より「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、2020年までに泡盛の輸出量を倍増させることを目標に、官民一体となった取組を推進している。
- 「沖縄酒類製造業自立経営促進事業」は、海外への販路開拓などに向けた先進的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造業者等に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きを促進することを目的としている。
- 平成30年度の予算額は31百万円（採択事業2件）、平成31年度は110百万円（採択事業7件）

### 【平成31年度採択事業一覧】

事業者	地域区分	事業概要
(株) Blueship 沖縄	欧州	琉球泡盛をジンやテキーラなどと並ぶハードリカー「AWAMORI」としてブランド構築し、現地のバーをターゲットに展開することで、バーでの飲酒体験を通して一般消費者における泡盛の認知度向上を図る。
(株) アドスタップ博報堂	北米	北米最大の県人会のあるカリフォルニア（サンフランシスコ・ロサンジェルス）を中心に、ウチナーンチュネットワークや沖縄発の世界ブランドである「空手と泡盛」の関係性等を活かしたプロモーションを実施し、現地バーやレストラン、スーパーマーケット等の販路展開を行い、アメリカ人高額所得者層への琉球泡盛の浸透を図る。
(有) 比嘉酒造	アジア	韓国及び香港において、フードペアリングの提案やインフルエンサーマーケティング等を実施し、現地の20代～40代における琉球泡盛の認知度の向上を図る。
まさひろ酒造(株)	アジア	海外でも認知度の高いジンの販売を通じ「原酒としての泡盛」を認知させ、泡盛の販売に繋げる。また、日系ルートに頼らない販路を開拓することで、現地のハードリカー愛好者（中流階級）向けの販路を構築する。
へリオス酒造(株)	豪州	日本食ブームによりバースタイルの居酒屋や、日本食レストランが増えているオーストラリアにおいて、20代～30代の男女を想定した泡盛のPRRやテストマーケティングを実施し、オセアニア市場におけるモデル事業の創出を図る。
(株) 新垣通商	アジア	巨大な蒸留酒（白酒）市場を有する中国大陸におけるニーズ調査を(有)今帰仁酒造等と行い、中国の大口販売契約の機会創出等、琉球泡盛販売先を確立させ、主に中国の中流階級や若者への販路を構築する。
(株) パートナーブレーション	全般	沖縄県酒造組合等と連携し、海外ビジネス関係者と泡盛酒造所とのマッチング・支援や、テロワール・マリアージュ等を通じたブランド価値の向上を目的とするモデル事業を展開する。また、本委託事業の各受託事業者に対して、沖縄県酒造組合等と連携し、関係機関が行うプロモーションを自走できるビジネスにつなげる支援をする。

(参考資料1)

【平成30年度採択事業一覧】

事業者	地域区分	事業概要
(株)Blueship沖縄	欧州	欧米市場に向けた取組。ローカルのバー等で展開し、ハードリカー分野での琉球泡盛のブランド構築を目指す。ポールの試作やアイスランドでの泡盛講座、カクテルコンペ等を実施した。
ビンコウHD(株)	アジア	泡盛を中国市場および中華系インバウンド市場向けに展開。泡盛を「日本酒」ではなく「白酒」(蒸留酒)として認知させるため、歴史的な琉球王国の御用達酒としてブランディング・PRを実施した。



MIZU

TSUCHI

KAZE

(株)Blueship沖縄



ビンコウHD(株)

## 目的

琉球泡盛の海外展開を促進するため、官民の関係者一体となった取組を推進

(目標値) 令和2年(2020年) 70キロリットル、令和4年(2022年) 100キロリットル

※現状(平成29年(2017年)) 29キロリットル、(平成30年(2018年)) 31キロリットル

## 構成

目的に賛同する関係団体、地方公共団体、関係府省などで構成

【顧問】 宮腰光寛 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)

【会長】 小泉武夫 東京農業大学名誉教授

【副会長】 佐久本学 沖縄県酒造組合会長

【会員】 (関係団体等) 沖縄県酒造組合、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県商工会連合

会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県ホテル協会、沖縄観光コンベンションビュー

ロー、泡盛マイスター協会、日本ソムリエ協会、沖縄県物産公社、沖縄振興開発金融公庫(ほか)

(地方公共団体・関係府省) 沖縄県、内閣府、国税庁、内閣官房、外務省、農水省、観光庁、JETRO

## 取組内容

・行動計画(平成31年4月14日改定)に基づき、プロジェクト会員(個人・団体)が、「訪日外国人に対する視点」、「海外市場に対する視点」および「具体的な商流につなげるためのビジネスの視点」の3つの視点から、6分野60の取組を実施

・プロジェクト会合を開催し、会員相互の取組について情報交換

## 具体的な関連プロジェクトの例

- ・欧米・アジアでのモデル事業の実施を通じて、泡盛酒造所の販路拡大に向けた事例共有(内閣府)
- ・琉球泡盛と沖縄県産の原料米を結びつける「琉球泡盛デロワールプロジェクト」の実施(内閣府、農林水産省(ほか))
- ・在外公館等において、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRの実施(外務省)
- ・「島酒フェスタ」による地域DMOとの連携した酒蔵ツーリズムの取組(沖縄県酒造組合) など

## プロジェクト会合の開催

平成30年4月13日：第1回

〔14日：プロジェクト設立記念イベント開催〕  
(第1回島酒フェスタ)

8月10日：第2回

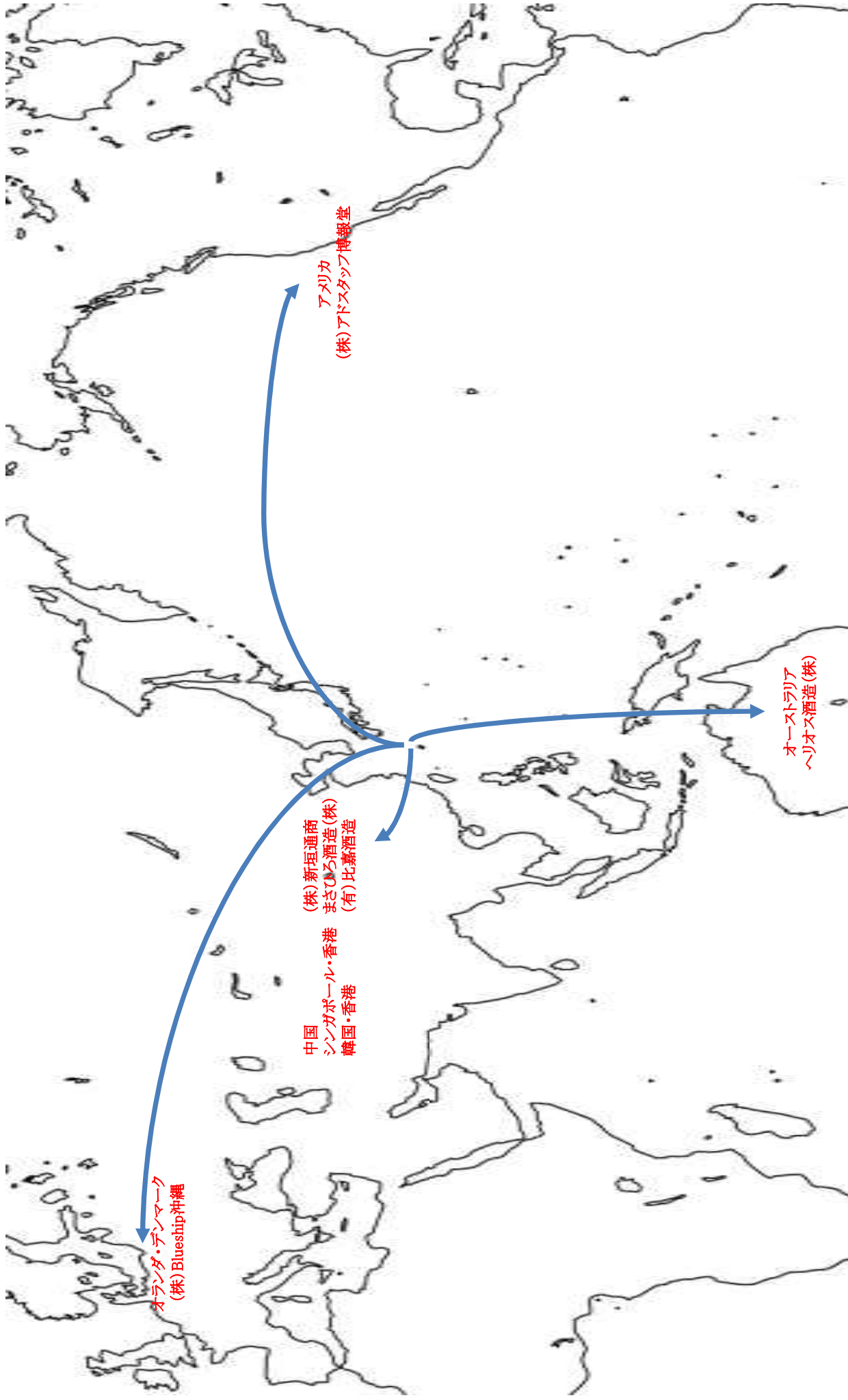
11月2日：第3回

平成31年1月27日：第4回

4月14日：第5回



## 実施地域（欧州、米国、アジア、豪州）



# 琉球泡盛海外輸出プロジェクト行動計画（概要）（参考資料4）

## 【現状と課題】

- 泡盛製造業は沖縄の貴重な地場産業であり、雇用の確保や地域経済の振興に重要な役割
- 泡盛の海外輸出については日本酒やウイスキーなどに比べて遅れているが、平成29年に沖縄を訪れた外国人観光客数は約254万人、6年連続で過去最高となるなど、海外における泡盛の認知度向上を図るには追い風
- 関税や貿易コスト等によって販売価格が高くなることへの対応、外国人に対するプロモーションの不足、外国語への対応のための人材確保や輸出のための知識不足などが課題

## 【行動計画】

- プロジェクト会員（個人及び団体）が、「訪日外国人」と「海外市場」の2つの視点と、6分野53の取組で泡盛酒造所の海外輸出を官民一体となって後押し

- ✓ 特に中国本土をはじめとするアジアからの観光客に泡盛の魅力を効果的に伝え「泡盛ファン」を増やす
- ✓ 沖縄県内でスムーズに泡盛を「観光土産」として購入できるようにする
- ✓ 帰国後も「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として泡盛の普及につなげる

### 訪日外国人に対する視点

#### 情報発信の強化

- ✓ インフルエンサー等を活用した琉球泡盛の魅力の国内外へ発信 など

#### 効果的な販路拡大・市場拡大

- ✓ モデル事業の実施を通じた販路拡大に向けた事例共有や海外での現地サポート など

#### 品質・技術の向上／人材の育成

- ✓ 外国人に対する商品説明能力の向上 など

- ✓ 泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラ等と並ぶ世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められており、北米、欧州の市場への浸透を図る
- ✓ 海外の市場への浸透を図るため、ターゲットを絞ったプロモーションを進め、泡盛の認知度向上に向けた取組を進める

### 海外市場に対する視点

#### ブランド力の向上

- ✓ 地理的表示（琉球）の活用や古酒のブランドイメージの向上 など

#### 輸出環境の整備

- ✓ 各国の関税・非関税障壁の撤廃に向けた取組 など

#### インバウンドとの連携

- ✓ クルーズ船向けPRの実施や酒蔵ツーリズムへの取組 など



## まずは「3年後に倍増」の実現

### 泡盛輸出数量

2020年に70KL・2022年に100KL

## 行動計画改定の概要

### ●プロジェクト1年目（2018年）の成果

- ✓ 泡盛酒造所29社に対しプロモーションや商談の実施などの支援を実施※
- ✓ 国別には17の国・地域で支援を実施※
- ✓ 海外輸出を行った酒造所は22社（2017年19社）
- ✓ 総輸出力は約31キロリットル（2017年29キロリットル。約6%増）

※国内で実施するインバウンド向けの事業等を除く

- 2020年の70キロリットルを達成するためには、今後2年間で約2.3倍増と、取組の加速化が必要。
- そのため、これまでの「訪日外国人に対する視点」と「海外市場に対する視点」に、「具体的な商流につなげるビジネスの視点」を加えた3つの視点で取組を進めていく。
- 会員の具体的な行動として、6分野60の支援事業を実施予定（2018年度6分野53）※
  - (1)情報発信の強化:10事業
  - (2)効果的な販路拡大・市場拡大:18事業
  - (3)品質・技術の向上／人材育成:7事業
  - (4)ブランド力の向上:12事業
  - (5)輸出環境の整備:7事業
  - (6)インバウンドとの連携:6事業

※再掲を含む



## (参考)新規支援事業

### (1)情報発信の強化

- 各種施策における鑑定官の講師派遣【国税庁】
- 情報発信ツールの整備と活用【国税庁、沖縄国税事務所】

### (2)効果的な販路拡大・市場拡大

- 沖縄で開催されるタイ・フェスティバルにおける泡盛プロモーション【沖縄県】

### (3)品質・技術の向上／人材育成

### (4)ブランド力の向上

- 琉球泡盛のPR【日本トランスオーション航空（株）】
- 琉球泡盛テロワールプロジェクトの推進【琉球泡盛テロワールプロジェクト推進チーム（沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JAおきなわ、沖縄県酒造組合）、内閣府沖縄振興局、農林水産省政策統括官・農林水産技術会議事務局】
- 琉球泡盛の日本遺産への登録【沖縄県】

### (5)輸出環境の整備

- 海外販路拡大に向けた支援窓口への誘導【沖縄国税事務所、（独）日本貿易振興機構】

### (6)インバウンドとの連携

令和元年7月18日  
内閣府沖縄総合事務局  
農 林 水 産 部

「第3回食育活動表彰」における  
読谷村漁業協同組合の受賞について

- 「食育活動表彰」は、食育関係者を対象として、その功績を称え、その取組内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組を全国に展開することを目的に平成28年度から実施しているもの。

※「第3回食育活動表彰」の概要

- ・主 催：農林水産省
- ・対象部門：「ボランティア部門」、「教育関係者・事業者部門」
- ・表 彰：農林水産大臣賞7点、消費・安全局長賞14点

- 読谷村漁業協同組合は、「おさかなフェスタ」（毎年7月）、「うみんちゅみなとピクニック」（毎月第3日曜日）、「定置網漁業体験」（漁を行う平日・土曜日）など、食育に関する取組を積極的に実施し、魚や魚料理、漁業を身近に感じてもらえるように工夫した取組を推進している。
- こうした取組が評価され、「第3回食育活動表彰」で農林水産省消費・安全局長賞（教育関係者・事業者部門）の受賞が決定した。また、本年6月29日、30日に山梨県甲府市で開催された第14回全国食育推進全国大会において、表彰式が実施された。

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局 農林水産部食料産業課  
担当：翁長、勢理客、玉城  
電話：098-866-1673



令和元年7月4日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局

## 「子ども見学デー」の開催について

～ 夏休み、沖縄総合事務局で、まなぶ、あそぶ！ 8月1日(木) ～

沖縄総合事務局では、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会を設けるとともに、行政の仕事に関心を持ってもらい理解を深めてもらうことを目的として、「子ども見学デー」を開催します。 ※年1回開催、今回4度目の開催

防災について考えたり、紅型手染めを体験したり、お金・沖縄の農産物・バリアフリーについて学んだり、災害対策用機械の紹介など、様々な企画を用意して皆様をお待ちしています。

### 「子ども見学デー」

- (1) 日 時 令和元年8月1日(木) 10:00～16:00
- (2) 場 所 那覇第2地方合同庁舎2号館（那覇市おもろまち2-1-1）  
**総合受付** 2号館1階エントランス（あっぱるタウン側）
- (3) 対 象 小学生（大人の引率者が必要です。）
- (4) 内容等

当日は、19のプログラムを予定しています。以下は代表例です。

- ・ 防災について考えよう！～備えあれば憂いなし！～
- ・ 記者になって財務省・金融庁・国税庁について質問しよう！  
～1億円の重さ体験・記念撮影あり～
- ・ 牛さんから何ができるのかなー？～バターをつくろう！～
- ・ シャーベットアイスを体験しよう！～新鮮なお魚が届くまで～
- ・ 災害時に、はたらく車！
- ・ バリアフリーって何だろう？（体験してみよう！バリアフリー教室） など

※ 詳細は、別添チラシ、プログラム をご覧ください。

#### 【本件問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局

総務部総務課広報室 大城（隆）、大城（建）、新里

電 話：098-866-0044

FAX：098-860-1000

夏休み、沖縄総合事務局で **まなぶ、あそぶ**

# 子ども見学デー

夏休みに、国のお仕事をのぞいてみませんか？  
1年間で1日だけ、自由に見学できるチャンスです！  
いろんなプログラムがあります。おたのしみに！

とき

令和元年 **8月1日** (木ようび)  
午前10時～午後4時 (ちょっとでも大歓迎！)

ところ

**那覇第2地方合同庁舎2号館**  
(那覇市おもろまち2-1-1) あっぶるタウンの向かい

たいしょう

**小学生** (お父さん、お母さん、引率の先生と来てね！)  
※保護者の同伴が必要です。

ひょう

**無料 (0円！)**

子ども見学デーでは、さまざまな企画を用意して皆様をお待ちしています。  
プログラムには、当日自由に参加できるものと、**事前に申込が必要**なものがあります。詳細については、沖縄総合事務局ホームページをご覧ください。

<http://www.ogb.go.jp>

問い合わせ先：沖縄総合事務局総務部総務課広報室 電話：098-866-0044

※駐車スペースに限りがあります。ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。



プログラム一覧

	プログラム	内 容	時 間	場 所	申 込
1	記念撮影	訪問の思い出に記念撮影をしよう！	10:00～16:00	6階特別会議室	不要
2	防災について考えよう！～備えあれば憂いなし！～	・訪問された方の住んでいる街の防災マップを見ながら、災害が発生した場合にどこへ避難するべきかななどを学習する。 ・防災備蓄食の試食 ・地震の仕組み、防災への備えの大切さに関するパネル展示 ・防災に関するクイズ(粗品有り) ・身近な物で作れる防災グッズ	10:00～16:00	6階特別会議室	不要
3	クイズに挑戦！！「お金って何？」 (沖縄国税事務所と共同)	「新しい日本銀行券」などのパネルを確認して、クイズに挑戦してもらう。	10:00～16:00	1階エントランス(待合スペースの一部)及び10階会議室(査定室1・2)	不要
4	記者になって財務省・金融庁・国税庁について質問しよう！ ～1億円の重さ体験・記念撮影あり～	財務部内の見学、仕事内容の紹介、1億円重さ体験、記念撮影、職員とのミニ記者会見	【小学4年生以上】 (各回定員15名) 11:00～11:45 14:00～14:45	10階研修室兼会議室	必要
5	牛さんから何ができるのかなー？～バターをつくろう！～	バター作り体験、畜産に関するパネル展示(バター作り体験のみ要申込、各回定員10名)	11:00～11:50 12:00～12:50 13:00～13:50 14:00～14:50	2階DE会議室	必要
6	学ぼう。「水」のこと、「むら」のこと。	・臨場感あふれる映像で見学体験 ・クイズにチャレンジ(田んぼの水はどこからやってくる?) ・農山漁村体験のDVD上映	10:00～16:00	2階DE会議室	不要
7	あなたも今日から虫博士！～虫から農作物を守る～	虫から農作物を守る方法についてパネル等で説明、害虫の実物・模型展示	10:00～16:00	1階行政情報プラザ	不要
8	森と海からのおくりもの	木製品等を活用した森と海のクイズ、パネル展示 等	10:00～16:00	1階行政情報プラザ	不要
9	知っている？沖縄の農業	・沖縄の農業について、統計データを用いたクイズ ・パソコンを使ったグラフ作成	10:00～16:00	1階行政情報プラザ	不要
10	たべるをまなぼう！ ～島野菜を使ったお菓子づくり～	・島野菜を使ったお菓子づくり教室(各回定員10名、要申込み) ・食育SATシステム体験 ・食育、食べ残し(食品ロス)の行方についてパネル展示	10:00～16:00 (お菓子づくり教室) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	2階DE会議室	必要
11	「紅型」手染め体験！ ～世界でひとつのオリジナルトートバックをつくろう！～	沖縄の伝統的工芸品である「琉球びんがた」の染め体験(トートバック製作)をしてもらい、伝統的工芸品をより身近に感じてもらう。	・体験 10:30～12:00 13:00～14:30 14:30～16:00	6階研修室	必要
12	クイズで学ぼう！！リサイクル♪	小型家電等のリサイクルについて、クイズや展示を通して楽しく学ぶ。	10:00～16:00	10階会議室	不要
13	電気って、どうやってはかっているの？ 「楽しく知ろう電気メーター」 ～作ってみようペットボトルエコライト～	・電気メーターのはたらきがわかるDVD上映 ・電気メーターの展示 ・電気メーターの動作体験 (シミュレーションパネルの展示) ・ペットボトルエコライト工作	工作: 10:30～11:30 14:00～15:00 展示: 10:00～16:00	10階会議室	工作のみ必要
14	シャープペットアイスを体験しよう！ ～新鮮なお魚が届くまで～	魚などの水産物を海外に輸出する際の鮮度を保つ方法について紹介します。 ●なぜ、魚を冷やしておくか鮮度を保つことができるのか。 ●過冷却とは 等 みて、さわって、食べて、楽しみながら学ぶことができる体験内容です。	(体験) 10:15～11:00 11:15～12:00 13:30～14:15 14:45～15:30 (体験以外) 10:00～16:00	6階会議室	体験のみ必要
15	港や空港について学ぼう！	・港湾や空港に関するパネル展示 ・地盤液状化現象の実験、紙飛行機づくり、船の塗り絵	10:00～16:00	1階AB会議室	不要
16	災害時に、はたらく車！	災害が発生した際に現場に出動し、安全確保及び復旧作業を行う機械の紹介 ※災害対策用機械カードの配布あり(先着500名)	10:00～16:00	西側駐車場(屋外)	不要 (注1)
17	地球にやさしい自動車大集合	最新鋭の地球にやさしい自動車や自動ブレーキなどの安全装置を搭載したサボカーをより身近に感じてもらうため、自動車の展示及び自動ブレーキのデモンストラーションを実施します。	10:00～15:00	西側駐車場(屋外)	不要 (※先着順) (注1)
18	バリアフリーって何だろう？ ～体験してみよう！バリアフリー教室～	ノンステップバスを利用したバリアフリー体験を通してバリアフリーについての理解を深めてもらう。 バリアフリー体験は、車いす・視覚障害・高齢者疑似体験を行う。	10:00～15:00	玄関付近	不要 (注2)
19	自動車の安全を学ぼう (自動車事故対策機構沖縄支所)	・自動車アセスメント(自動車、チャイルドシートの安全性評価)の試験映像、パネル、パンフレット等による紹介 ・自動車事故対策機構が行っている自動車事故に係る被害者支援の取組の紹介 ・運送事業の運転者が受ける適性診断の体験受診	10:00～15:00	1階AB会議室	不要

(注1)プログラム16、17は、荒天時には一部中止となる場合があります。

(注2)プログラム18は、雨天時には中止となります。

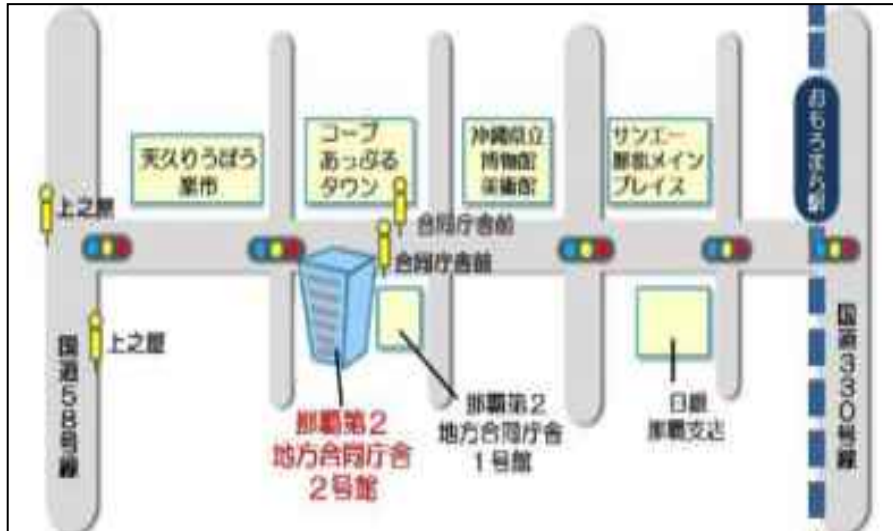


## 参加・申込み方法

### 1 自由に参加できるプログラム

内閣府沖縄総合事務局 那覇市おもろまち 2-1-1 那覇第2 地方合同庁舎 2 号館

1 階「**総合受付**」までお越しください。全体プログラムをお渡しします。



※ 駐車スペースに限りがあります。  
ご来場の際には、公共交通機関を御利用ください。

### 2 事前申し込みが必要な 6 プログラム

メールに以下の①～④事項を必ず記入し、お申し込みください。

- ① 保護者(引率者)の氏名、電話番号
- ② 参加者情報・参加者(子ども)の氏名、学年、引率者(大人)人数
- ③ 第1希望プログラム・開催時間(下記の記号 **A～Q** より選択)
- ④ 第2希望プログラム・開催時間(                      "                      )

申込期限 令和元年 7 月 22 日(月) 必着

注1：申し込み多数の場合、先着順とさせていただきます。

注2：集合時間・場所は、返信メールでお知らせします。

注3：上記の申込アドレスから返信しますので、受信できるよう設定願います。

注4：キャンセルする場合、必ずご連絡ください。

プログラム	記号	時間	定員（引率者除く）
4 記者になって財務省・金融庁・国税庁について質問しよう！ ～1億円の重さ体験・記念撮影あり～	A	【小学4年生以上】 11:00～11:45	15名
	B	14:00～14:45	15名
5 牛さんから何ができるのかなー？ ～バターをつくろう！～	C	【バターづくり体験】 11:00～11:50	10名
	D	12:00～12:50	10名
	E	13:00～13:50	10名
	F	14:00～14:50	10名
10 たべるをまなぼう！～島野菜を使ったお菓子づくり～	G	【教室のみ必要】 10:00～11:30	10名
	H	13:30～15:00	10名
11 「紅型」手染め体験！ ～世界でひとつのオリジナルトートバックをつくろう！～	I	【体験】 10:30～12:00	20名
	J	13:00～14:30	20名
	K	14:30～16:00	20名
13 電気って、どうやってはかっているの？～作ってみようペットボトルエコライト～	L	【工作のみ必要】 10:30～11:30	15名
	M	14:00～15:00	15名
14 シャーベットアイスを体験しよう！～新鮮なお魚が届くまで～	N	【体験のみ必要】 10:15～11:00	15名
	O	11:15～12:00	15名
	P	13:30～14:15	15名
	Q	14:45～15:30	15名

※「子ども見学デー」で取得作成した個人情報適切に管理し、その業務目的以外の用途には利用いたしません。

※ 開催当日の会場の様子や、会場に訪れた方々の様子を撮影し、後日、沖縄総合事務局などのホームページや広報誌などに掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。